



キャンドルサービス

概要 (セールスポイント)	・燭台にろうそくを全員立て、静かな暗闇に揺れるキャンドルの炎で深い感動を全員で共有する。 ・キャンプファイヤーの動に対しキャンドルサービスは静ともいえる。 ・火を見つめ、安らかな 気分で心落ち着かせ、集まった人々の心に新しい何かを芽生えさせる。			
諸条件	場 所	多目的ホール・創作のやかた	対 象	小学生以上
	所要時間	約1時間	人 数	120人程度(燭台105本)
	時 期	通年	天 候	全天候
活動の 教育的効果	・燭台にろうそくを全員立て、静かな暗闇に揺れるキャンドルの炎で深い感動を全員で共有する。 ・キャンプファイヤーの動に対しキャンドルサービスは静ともいえる。 ・火を見つめ、安らかな 気分で心落ち着かせ、集まった人々の心に新しい何かを芽生えさせる。			
準備する物	少年自然の家が貸出可能な物		団体(個人)が準備する物 ※参考	
	☐ 燭台 ☐ ブルーシート ☐ 衣装 ☐ アンプ ☐ マイク ☐ 延長コード		☐ ろうそく(火の神用・火守り用・全員用) ☐ アルミホイル ☐ その他(懐中電灯等)	
活動内容 (手順)	活動の流れ	内 容		備 考
	事 前	☐ ロウソクにアルミホイルを付ける (溶けたロウで火傷をしないため)		
	準 備	☐ 燭台を設置する ☐ 火守り予行練習 ☐ けがや事故等の注意		※燭台のろうそく台の本数は105本。
	第一部	☐ ともしびのつどい		
	第二部 第三部	☐ 交歓のつどい ☐ 別れのつどい		
	終 了	☐ 連絡と諸注意		
想定される リスク	☐ 溶けたロウによる火傷 ☐ 暗闇での転倒等のケガ ☐ 虫刺され			
指導の バリエーション	☐ 第一部 開会の言葉等を団体独特のものに変える。 ☐ 第二部 レクリエーションも団体独自の楽しいものを企画する。			